平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震について

平成２０年０６月２０日（１６：３０）現在
官　　邸　　対　　策　　室

１．地震の概要（気象庁）

（１）発 生 日 時　　平成２０年０６月１４日　０８時４３分頃
（２）震 央 地 名　　岩手県内陸南部（北緯39度02分、東経140度53分）
（３）震源の深さ　　８ｋｍ
（４）規　　模　　マグニチュード７．２（推定）
（５）各地の震度（震度５強以上）
　震度６強　　岩手県奥州市
　　宮城県栗原市
　震度６弱　　宮城県大崎市
　震度５強　　岩手県北上市、一関市、金ヶ崎町、平泉町
　　宮城県加美町、涌谷町、登米市、美里町、名取市、仙台市、利府町
　　秋田県湯沢市、東成瀬村
（６）津　　波　　この地震による津波の心配なし
（７）余震情報（20日13:00現在）
　震度１以上の余震３９４回
　最大余震１４日０９：２０、マグニチュード５．７（最大震度５弱）
　（余震確率）（20日10:30発表）
　　１８日１１時から３日間以内
　　・マグニチュード５．５以上（場所によっては震度５強程度）が１０％
　　・マグニチュード５．０以上（　　〃　　震度４～５弱）が３０％
（８）岩手県、宮城県、秋田県の被災地周辺における気象の予想（20日13:00現在）
　今日（20日）は、気圧の谷や梅雨前線の影響で、曇り日中は時々晴れ、にわか雨や雷雨の恐れあり。
　明日（21日）は、曇りだが、気圧の谷や梅雨前線の影響で朝晩を中心に雨の見込み。22日から27日にかけては、気圧の谷や梅雨前線の影響で、曇りや雨の日が多い。
　強い揺れを観測した地域では、地盤が脆弱になっている可能性が高く、雨による土砂災害の危険性が通常より高くなると考えられる。
　なお、15日10:00から岩手県、宮城県、秋田県の震度の大きかった市町村の大雨警報・注意報、土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げて運用。

２．被害状況（未確認情報を含む）

（１）人的被害（消防庁 20 日 14:30）

県　名	死　者	行方不明	負傷者	負傷者の内訳
岩手県	２		３７	重傷　９、軽傷２８
宮城県	８	１１（２）	２５１	重傷３９、軽傷２１２
秋田県			２１	重傷　５、軽傷１６
山形県			１	重傷　１
福島県	１		２	重傷　１、軽傷　１
合　計	１１	１１（２）	３１２	重傷５５、軽傷２５７

（　）は未帰宅者で内数

【主な人的被害】

・岩手県　一関市において、地震に驚き道路に飛び出し、交通事故死
　　奥州市において、胆沢ダム建設工事現場の落石により死亡

・宮城県　栗原市において、土砂崩れにより２名死亡
　　栗原市（湯浜温泉）において、車両埋没により死亡
　　栗原市（駒ノ湯温泉）において、生き埋めにより５名死亡

・福島県　いわき市において、岩場にいたところ地震の落石で海へ転落して死亡

（生き埋め・孤立情報等）

〇生き埋め・行方不明情報

・宮城県栗原市駒ノ湯温泉で、建物の一階部分が倒壊し、生き埋め７名（宿泊客２名、従業員３名、経営者の家族２名）、→３名発見、死亡確認（再掲）（男性１名、女性２名）（警察庁 15 日 16:00）→男性１名（心肺停止）搬出（警察庁 16 日 12:30）→引き続き付近捜索（警察庁 18 日 09:00、消防庁 18 日 11:00、防衛省 18 日 08:00）→新たに行方不明３名中１名発見、死亡確認・身元判明（警察庁 18 日 21:10）→引き続き付近捜索（警察庁 20 日 14:30、防衛省 20 日 07:00、消防庁 20 日 14:30）

・宮城県栗原市の花山本沢水無地区において、作業員１名行方不明。生き埋めの可能性→引き続き付近捜索（警察庁 18 日 09:00、消防庁 18 日 11:00、防衛省 18 日 08:00）→天然ダム決壊の恐れの情報により一時中断、18 日は再開せず（消防庁 18 日 18:30、警察庁 18 日 18:30、防衛省 18 日 18:30）→19 日 06:00 警察捜索活動開始→引き続き付近捜索（警察庁 20 日 14:00、防衛省 20 日 07:00、消防庁 20 日 09:10）

・宮城県若柳町行者の滝で１名行方不明→引き続き付近捜索（警察庁 18 日 09:00、防衛省 18 日 08:00）→天然ダムの決壊の恐れの情報により一時中断、18 日は再開せず（警察庁 18 日 18:30）、自衛隊は捜索継続（防衛省 18 日 18:30）→19 日 06:00 警察捜索活動開始→引き続き付近捜索（防衛省 20 日 07:00、警察庁 20 日 14:00）

・宮城県栗原市白糸の滝で老夫婦２名がつり橋から転落→引き続き付近捜索（警察庁 18 日 09:00）→落石の恐れがあり一時中断、18 日は再開せず（防衛省 18 日 8:00、警察庁 18 日 18:30）→19 日、天候不良のため自衛隊待機中（防衛省 19 日 7:00）

→引き続き付近捜索（防衛省 20 日 07:00）

・白糸の滝上流で釣り人２名行方不明（栗原市災対本部 15 日 09:30）→引き続き付近捜索（警察庁 18 日 09:00）→落石の恐れがあり一時中断、18 日は再開せず（警察庁 18 日 18:30）→引き続き付近捜索（防衛省 20 日 07:00）

・栗駒公園線柳沢線入口付近に釣り人１名行方不明との情報（消防庁 15 日 22:15）→車両発見（消防庁 16 日 06:38）→引き続き付近捜索（消防庁 18 日 11:00、防衛省 18 日 08:00）→引き続き付近捜索（防衛省 20 日 07:00、消防庁 20 日 14:30）

・荒砥沢ダムに車両が埋まっているとの未確認情報（警察庁 15 日 05:00）

・湯浜温泉（湯浜から南２km）において車両流出。２台の車両を確認。男性１名、女性１名を救出（消防庁 15 日 01:00）また、潰れた車両から１名を発見し死亡確認（再掲）（警察庁 15 日 11:15）→その他の流出車両は無いと判断し活動終了（消防庁 15 日 07:00、警察庁 17 日 07:30）→引き続き付近捜索（警察庁 20 日 09:00）

・車で石淵ダムに向かった２名行方不明→徒歩移動中を発見、救出完了（警察庁 15 日 17:30）

・岩手奥州市県 R397 においてマイクロバス１台（20 名乗り）が土砂崩れに巻き込まれ斜面を落下→20 名を救出完了（消防庁 14 日 21:00）。

・宮城県栗原市花山で土砂災害により車１台埋もれている（消防庁 14 日 11:04）→女性１名、男性１名救出完了（消防庁 14 日 19:20）

・宮城県仙台東部道路でバスが走行中にバウンドし負傷者 24 名（警察庁 15 日 06:00）

〇未帰宅情報

・栗駒山に山菜採りに行った山形県在住者２名が未帰宅（秋田県湯沢警察署に届出）（警察庁 15 日 08:38、消防庁 15 日 18:30）→引き続き付近捜索（防衛省 18 日 08:00）

・栗駒山に登山に行った秋田県在住者１名が未帰宅→帰宅（警察庁 15 日 16:00）

〇孤立情報（対応終了）

・耕栄地区「山脈ハウス」（ハイルザームの手前）に周辺住民３４名が自主避難。→3 名（本人の意思による）を残し伝創館に搬送（消防庁 16 日 19:20）

・温泉・プール施設「ハイルザーム栗駒」（宮城県栗駒温泉付近）に約１００名が孤立→自衛隊、海保ヘリにより救出完了（栗原市災対本部 15 日 09:30）→新たに１６名が一時避難→栗駒高原自然学校に移動→伝創館に搬送（消防庁 16 日 19:20）

・花山地区（金沢・中村地区）において、温湯（ぬるゆ）山荘に３０名、中村集会所に４０名、金沢地区４９名が孤立（栗原市災対本部 15 日 09:30）→金沢地区は、道路開通により孤立解消、中村地区・温湯山荘は救出完了（消防庁 15:30）

・宮城県栗原市いわかがみ平登山口で 60 名孤立→14 日午後救出完了（消防庁 15 日 05:34）

・R342 号矢櫃（ヤビツ）ダム周辺で、祭畤（マツルベ）大橋の損傷により１９名孤立、→救出完了（警察庁 14 日 18:15）→さらに孤立者４名発見、救出完了（警察庁 15 日 09:30）

・市野々原地区内の公民館に 30 名孤立→28 名救出（消防庁 15 日 02:52）、２名救出（消防庁 15 日 10:34）

・祭畤大橋の東側で 40 名が孤立→38 名救出（消防庁 15 日 02:52）、２名救出（消防庁

15 日 10:34）
・岩手県一関市祭畤（マツルベ）で 100 名孤立→98 名救出（消防庁 15 日 02:52）、２名を救出（消防庁 15 日 10:34）
・真湯（しんゆ）地区（烏帽子山付近のＲ342 号）にて 47 名孤立→救出完了（消防庁 15 日 06:23）
・岩手県一関市須川温泉で従業員・客約 100 名孤立→自主下山完了（消防庁 15 日 02:52）
・温湯（ぬるゆ）（宮城県栗原市）で 20 名が孤立→救出完了（防衛省 14 日 22:30）
・温湯（ぬるゆ）温泉で孤立→38 名救出完了（防衛省 15 日 16:10）

（避難状況）　（消防庁 20 日 14:30）
・岩手県　　１２０名（奥州市８０、一関市４０）
・宮城県　　１６４名（栗原市１６４）
合　計　　２８４名

（２）河道閉塞の状況（国土交通省 20 日 07:30）
・迫川（花山ダム（宮城県）上流）　７箇所
・二迫川（荒砥沢ダム（宮城県）貯水池内）　１箇所
・三迫川（栗駒ダム（宮城県）上流）　２箇所
・磐井川　５箇所
※17 日より岩手・宮城両県知事からの要請をうけ、決壊や氾濫のおそれが特に高い河道閉塞（天然ダム）３箇所（迫川２箇所、磐井川１箇所）について直轄砂防災害関連緊急事業による対策工事を実施。18 日より磐井川の市野々原地区では 13:20 より仮排水路で通水を開始、排水量を増加させるための工事を 24 時間態勢で継続。迫川の浅布地区、小川原地区においても 19 日より掘削に着手、安全体制が確保され次第、24 時間態勢に移行予定。

（３）建築物被害（消防庁 20 日 8:00）

・岩手県		半壊１棟、	一部破損	２７３棟、火災２件
・宮城県	全壊４棟、	半壊５棟、	一部破損	１０３棟、火災１件
・秋田県			一部破損	２棟、火災１件
・山形県			一部破損	１棟
合　計	全壊４棟、	半壊６棟、	一部破損	３７９棟、火災４件

（４）交通遮断状況
（鉄道）
・東北・秋田・山形新幹線は、15 日 06:07 までに全て運転再開（国土交通省 16 日 06:30）
（道路）県管理道路等１８区間で全面通行止め（２県にまたがるもの３区間あり）（国土交通省 20 日 07:30）
・岩手県　８区間（うち落橋１区間（祭畤大橋））
・宮城県　６区間
・秋田県　７区間
（海上航路）
・航路標識の外観点検終了。20：30 灯火の正常点灯の確認終了。異常なし（海上保安庁 14 日 23:30）

（５）ライフライン等の状況

・原発：女川１～３号機、東通、福島第一１～６号機、福島第二１～４号機　現在までの所異常が確認されていない　（原子力安全・保安院 15 日 11:30）
・福島第二４号機原子炉建屋５階で約４リットルの水溜まり。サイトバンカ建屋で約１５リットルの水溜まり、サイトバンカ建屋２階のピット底部内に約１リットルの水溜まり。２号機原子炉建屋４階東側通路空調ダクトの下などに約９リットルの水溜まり。なお、施設からの外部への漏洩は確認されず。（原子力安全・保安院 15 日 11:30）
・停電：２５７戸（経済産業省 18 日 16:00）
　宮城県栗原市　２５７戸（うち、道路照明４４戸）
※岩手県一関市祭時（まつるべ）地区の立入禁止区域については、土砂崩れ発生等による事故の未然防止のため、16 日 20:30 から同地区（119 戸）への電気の供給を停止
・ガス：全て対応終了（原子力安全・保安院 15 日 11:30）
・断水：（厚生労働省 19 日 10:00）
　岩手県　　４５６戸（奥州市４３０戸、一関市２６戸（孤立地区（避難済み））
　宮城県　　５２５戸（栗原市４５７戸、大崎市６８戸）
　合　計　　９８１戸
・宮城県内で一部電話不通（９５加入電話）（総務省 17 日 17:00）
・宮城県内で携帯電話基地局（２社４基地局）が停波中（総務省 17 日 17:00）

３．政府の主な対応

１４日
・０８：５０　官邸対策室設置、緊急参集チーム招集
・０８：５０　総理指示　被災状況の早期把握と迅速な広報及び被災者等ある場合、救助に全力を挙げること
（緊急参集チーム確認事項）
１．　岩手県内陸南部を震源とする地震について、県や市町村と一体となって、被害状況を早急に確認し、速やかな救出・救助活動に全力を尽くす。
２．　広域に及ぶ被害が確認された場合には、緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊、自衛隊の災害派遣による被災地への広域応援を行い、必要に応じ増援し、被害の状況に応じて万全の体制を期する。
３．　引き続き、県や市町村との的確な連携を図りながら、政府一体となって適切に対応する。
・１１：３８　政府調査団（団長：防災担当大臣）出発、１３：３５　現地着（派遣場所岩手県一関市、宮城県栗原市）
・１５：２０　総理指示
　現地では、孤立されている方々や、行方不明になっている方々がまだまだいる可能性がある。
　現在でも救出が進みつつあるが、日没が迫っている。今後さらに、警察、自衛隊、国交省などのヘリを効果的に運用して、可能な限り状況把握に努め、救出活動に全力を挙げてもらいたい。
・１６：３０　政府の現地連絡対策室設置（宮城県栗原市役所内）

・政府調査団、団長以下１９名は現地に滞在。他の要員は１８：３４現地から市ヶ谷に向けて離陸、２０：３０市ヶ谷着陸
・岩手県一関市、宮城県栗原市に災害救助法を適用（厚生労働省 14 日 19:00）
・１８：５０　総理指示
① 救助活動及び被害の確認作業について、夜間においても引き続き全力で実施せよ。
② 被災者の避難・救援にも万全を期せ。
・２０：００災害対策関係省庁連絡会議　開催
申し合わせ事項
１．　行方不明者の捜索を含め、被災者の救出・救助活動に全力を尽くすこと。
２．　被災地方公共団体と連携・協力して、被害状況の的確な把握に努めること。
３．　被災者が１日も早く安心した生活に戻れるよう、避難者等の支援対策に尽力すること。
４．　道路や水道等のライフラインの応急対策や災害復旧に適切に対応すること。
５．　引き続き大規模な余震が発生する可能性があることから、応急対策活動に際しては留意するとともに、被災者の安全確保に万全を期すこと。
６．　その他被災者の支援、被災地の早期復旧・復興に向けて、関係省庁が一体となって対応に万全を期すこと。

１５日
・０９：００　緊急参集チーム会議開催
・１０：３０　総理指示
引き続き行方不明者の情報を確認し、捜索・救出に全力を尽くせ
・１２：３０　団長以下、政府調査団、市ヶ谷に着陸
・１２：３８　防災担当大臣が官房長官に現地調査結果の報告
（防災担当大臣への総理指示）
・引き続き行方不明者の情報を確認し、捜索・救出に全力を尽くすこと
・未復旧のライフラインの復旧に早急に手をつけること
・岩手県奥州市、北上市、胆沢郡金ヶ崎町（いさわぐんかねがさきちょう）、西磐井郡平泉町、宮城県大崎市に災害救助法を適用（厚生労働省 15 日 13:00）
・１４：００　災害対策関係省庁連絡会議（第２回）開催

１６日
・０９：００　緊急参集チーム会議開催
・１１：２０　関係閣僚会合開催
総理指示
１．　引き続き、行方不明者の捜索、被災者の方々の救出活動に全力を尽

くすこと。

２．　被災者の方々が一日も早く安定した生活に戻れるよう、水道等のライフラインの応急対策も含め、被災者の方々の支援対策に尽力すること。

３．　余震に備え、被災者の方々、救助関係者の安全確保に万全を期すこと。

４．　道路等の災害復旧に適切に対応すること。

・２０：００　災害対策関係省庁連絡会議（第３回）開催

１７日

・１９：００　災害対策関係省庁連絡会議（第４回）開催

１８日

・０８：００～　総理大臣が被災地を視察

・１７：００　災害対策関係省庁連絡会議（第５回）開催

１９日

・１８：００　災害対策関係省庁連絡会議（第６回）開催

４．各省庁の活動状況

（活動勢力）警察庁　　４１９０人（※災害警備本部員を含む）、ヘリ１３機（20 日 14:30）

消防庁　　９１人、緊急消防援助隊１１隊（陸上部隊１１隊、航空部隊０隊）

このほか、宮城県内消防隊２５３１人、３０３隊（14～18 日累計）

岩手県内消防隊３３１５人、２５０隊（14～16 日累計）

（19 日 09:10）

防衛省　　19 日　約１６３０人、車両約４７０両、航空機５０機（20 日 15:00）

海上保安庁　航空機５機（19 日 09:00）

（活動実績）

（１）災害派遣（防衛省）（19 日 14:00）

・６箇所で捜索・救助活動実施中、この他、道路啓開３箇所、生活支援活動１１箇所、医療支援１箇所を実施中。19 日、土砂ダム対策に伴うヘリによる航空偵察実施予定。土砂ダム対策に伴う発電機４台を瑞泉閣ヘリポートから市野々原にヘリで輸送

・（実績）救助者数　計２９９人、給水量約９１トン、給食約１０３０食、入浴者数８９０人、道路啓開１箇所

（２）緊急消防援助隊（消防庁）（19 日 14:30）

・午前６時３０分、県内応援隊をもって３箇所で捜索・救助活動開始。
午前９時、宮城県から消防庁長官に対し、宮城県内に出動中の他県から応援の全ての緊急消防援助隊の応援要請解除の報告。

・（実績）救助者数　計１７４人

（３）広域緊急援助隊（警察庁）（20 日 14:30）

・午前６時１０分から北海道、警視庁及び愛知県警察広域緊急救助隊５５人が宮城県警察５９人とともに駒ノ湯温泉における行方不明者２人の捜索活動を実施
・宮城県警察１１０人が花山本沢、湯浜、行者の滝を中心として行方不明者情報に基づき捜索活動を実施。

（４）海上保安庁（18 日 09:00）
・（実績）救助者数　計１５３人、救援物資輸送約１００kg、人員輸送支援３５名

（その他の活動）

（１）ＤＭＡＴ（厚生労働省）
・14 日、１２都県からＤＭＡＴ（災害派遣医療チーム）計３６チームを現地に派遣
・15 日 16:00、岩手県、宮城県においての医療ニーズを確認し、各県での医療対応が可能であることから、医療活動は県に引き継ぎ、ＤＭＡＴは活動を終了。

（２）ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ等（国土交通省）
・14 日、本省、地方整備局、気象庁等からなるＴＥＣ―ＦＯＲＣＥ（緊急災害対策派遣隊）を現地に派遣中（18 日現在、８４班、１７４名）
・災害対策用機械派遣実績：照明車１９台、衛星通信車３台、遠隔操縦式バックホウ４台等

５．その他

１４日　０８：４３　宮城県・岩手県・秋田県災害対策本部設置（消防庁 14 日 10:20）